

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスなないろ行徳			
○保護者評価実施期間	2026年 4月 22日 ～ 2026年 5月 16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2026年 4月 20日 ～ 2026年 4月 27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内の広さが十分にあり、児童の特性やプログラムに合わせたスペースの確保が容易である。	・運動スペースと学習・課題スペース・休憩スペースもある事で、活発な児童も集団や雑音を苦手とする児童にも、それぞれに合わせた個々の居場所を提供できる。	・広さが十分にある反面、職員の目が行き届かない死角がでやすい環境なので、事故・トラブルのないように更に環境整備や対策をおこなう。
2	保護者様から相談の受けやすい環境の整備をしている。	・管理者・児発管も送迎の担当や同行を行う事で、保護者様との連携が取りやすく、希望によりLINE連携もしている事で常に連絡を取れる体制を整えている。	・相談内容をもとに家族支援や専門的支援にもつなげる。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対する、非常時（緊急時・感染症等）の対応に関する周知・発信の不足がある。	・対策マニュアルの作成・HPでの公開と手紙の配布をする事で周知・説明を終えてしまう。	・いつ、どのような内容で避難訓練が行われているのか等を新聞やブログ・お知らせで保護者にわかりやすく周知・発信を行う必要性がある。
2	保護者同士の交流やきょうだい・地域の他のこどもと活動や交流をする機会が少ない。	・利用児童の特性上、慣れない環境や他者との交流の難しさと、事故・危険防止の観点から難しさを感じている。	・利用児童に無理や負担のない程度の小さな集まりやイベントから始め、少しずつ体験を増やしていけるように支援を行う。
3			